

コロナ禍でも前を向いて、その先へ

新型コロナウイルス感染症拡大による夏の甲子園大会予選の中止に代わり、新潟県高等学校夏季野球大会が開催されました。優勝した、分水中学校出身で中越高等学校野球部主将（当時）の廣瀬さんとその軌跡をお聞きます。

「5月20日に甲子園大会の中止の発表を聞いたときは頭が真っ白になりました。でもその後、部員たちと『前を向いて、自分たちができることを最大限やろう』と話し合いました。あのとき3年生の気持ちが一層強くなったことがとても心に残っています」

2歳の時にはすでにゴムボールとプラスチックバットを持っていたという廣瀬さん。同じ中越高校で夏の甲子園に出場した父親の影響を受け、幼少期から甲子園を目指しました。1年生の夏にレギュラーとして出場し、今度は自分たちの力でこの場所に帰ってくることを誓います。

しかし思うように結果を残せず、「歴代最弱の代」と言われたことも。総勢94人の部員をまとめる中で、軌轢や自



ひろせ かいだい
廣瀬 航大さん（中島）

●令和2年度新潟県高等学校夏季野球大会 優勝
【中越高校3年生・前野球部主将】



▲大会で打席に立つ廣瀬さん。チームを勝利に導くホームランを打った瞬間です。

身の怪我がに苦悩した時期もあったそうですが、絶対に投げ出しませんでした。その後、予選会に代わる独自大会の開催が決まり、これまでの感謝の気持ちを胸に試合に挑みます。そして今までの努力が実を結びました。

「これまで苦しい思いをしてきましたが、優勝したことでそれが報われて、とてもうれしいです」

現在は部活を引退した廣瀬さん。大会での優勝をステップに、すでにその先を見据えています。

「小さいころからの夢だったプロ野球選手になって、これまで支えてくださった方々に恩返しするのが目標です。まだまだ力不足だし、精神的にも未熟なので、大学野球に挑戦し、もっと自分を高めていきたいと思っています」

紙上ブログ

燕市長 鈴木力

「つばめ、食べて、応援キャンペーン事業」を10月1日から11月30日まで実施します。

燕市独自の感染症対策の第3弾「11月アゲイン」のひとつ。

市内の農産物直売所や小売店舗等で、燕市の農家が生産した米、野菜、果物、花き、豚肉などの対象商品を購入して応募シールを集めると、飛燕舞、豚肉、ルレクチエ、エコバッグが当たります。

新型コロナウイルスの影響は、商工業だけでなく農業にも及んでいます。

燕市産の農産品を購入することで農家の皆さんを応援することにになりますので、多数のご応募をお願いいたします。

▲こちらは有料広告です。

NCT 3つまとめて **この価格!!**

インターネット 光300Mbps

ケーブルテレビ アンテナ不要

固定電話 基本料がおトクに!

6,000円

Wi-Fi 機器レンタル料 無料 キャンペーン

工事費 無料 キャンペーン

※NHK受信料は含まれておりません。

NCT エヌ・シー・ティ 0120-080-009 〒940-0032 長岡市干場1丁目7-9 www.nct9.co.jp

【電話受付】9:00~18:00 (ドコモ光タイプCに関しては19:00まで)

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。